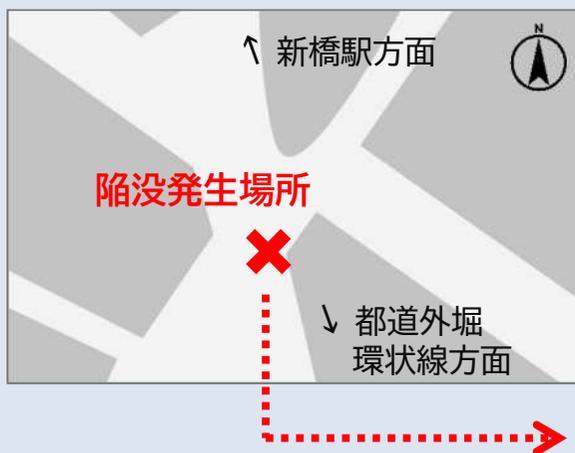


区道の緊急調査の実施

令和7年6月18日 区長定例記者発表



- 令和7年5月21日（水曜）午前5時30分頃、港区新橋三丁目25番先の五差路の交差点で幅約1.2m、深さ約1.2mの道路陥没が発生し、一時、作業中の清掃作業車の後部車輪がはまり動けなくなりました。
- 同日の午後、区職員及び東京都下水道局職員が原因究明のため開削をしましたが、下水道管に損傷や不具合等は確認できませんでした。



港区では5年毎に、区が管理する2車線以上の道路について、レーダーによる空洞調査を行っています。

前回は令和6年度に実施していますが、今回陥没が発生した道路は比較的幅員が狭く、調査の対象外でした。

◀ 発生直後の様子（現在は復旧対応済み）

この事態を受け、道路の落ち込みなど陥没につながる可能性のある箇所の有無を確認するため、区職員の目視による緊急調査を実施しました。

区職員の目視による緊急調査

調査対象 港区内全域の区道（約220km）のうち、令和6年度に空洞調査を実施した区道（2車線以上の区道約66km）を除いた、調査未実施の区道（約154km）

調査期間 令和5月22日（木曜）から30日（金曜）

➡ 調査の結果、陥没につながる可能性のある箇所はありませんでした。

今後、目視調査を実施した区道約154kmについて、さらにレーダーによる空洞調査を早急に実施します。

レーダー探査車両イメージ

